

No. J02	まっちゃん	年 月 日	令和5年2月16日(木)
---------	-------	-------	--------------

設問

[問い1] 今だったらどんな質問ができるか

(1) 介護をするためにお仕事を辞めることになると、小島さんはどのように思われますか？

(2) 小島さんのお仕事のどういったところが評価されていると感じていますか？

(3) どうして今の仕事を今後も続けていきたいと考えられているのでしょうか？

(4) 冒頭でお話いただいた、考えが纏まらないとはどういったことがまとまらないのですか？

(5) ご主人の雇用延長をするか転職をするかという状況をどのように感じられておりますか？

(6) まだ、夫に話せていないと仰いましたが、そういった現在の状況についてどう思われますか？

[問い2] 良かった点と悪かった点 (各2行)

事例Ⅰの CCt8 (相応しい・相応しくない)

(良) 相談者の発話量が多い中、相談者が話したいと思われる感情に焦点を当てて傾聴を続けることにより、ご主人や義母に対する思いや、現在の仕事が楽しいと感じている理由をお伺いすることができた。

事例Ⅱの CCt9 (相応しい・相応しくない)

(悪) 仕事を辞めなければならないかもしれない状況の中で、具体的にどのような選択肢がとれるのか、また、現実問題として相談者は今後のキャリアについての考えをもっているのか確認ができなかった。

[問い3] クライエントの主訴

現在、不動産会社の事務職として働いている。会社からも評価されていると感じており、自分に向いていない仕事ではなく、仕事自体も楽しいと思っている。その為、今後も現在の仕事を続けたいと考えているが、義母の介護を理由に仕事を辞めてほしいと夫に言われた。相談者は一方的に介護を押し付けられたような思いがあり、やるせなく悲しい気持ちが続いている。夫は頑なで頑固な性格であると感じている為、仕事を辞めたくないということについてはまだ話せておらず、どうすればよいか分からない。

[問い4] 今後の展開 (どのように進めるか)

相談者の仕事を楽しいと感じていて、今後も仕事を続けたいという感情を丁寧に傾聴し、今後の仕事や介護について冷静に考えられるように促す。そして、これからのキャリアを歩んでいく上で大切にしたいことを整理する手伝いを面談の中で行い、今後のキャリアに関する価値観を理解してもらう。また、必要であればアサーション・トレーニングを紹介し、ご主人も相談者自身も肯定できる姿勢を持って頂き、コミュニケーションの円滑化を図る。そして、ご主人と義母の介護を含めた今後のキャリアについて話し合っ頂きながら、相談者が次の行動を主体的に意思決定できるよう支援をしていく。